伊勢の元気さん！

伊勢志摩おもてなしの会
伊勢なでしこ

「伊勢に来て良かった」「もう一度来たい」そう思ってもらえるように

今回の「伊勢の元気さん」では、伊勢志摩の観光活性化とおもてなしの向上を目指して活動する「伊勢なでしこ」の皆さんを紹介します。

平成25年に執り行われる神宮式年遷宮に向け、伊勢志摩地域を訪れる人は年々増えています。

この地域を訪れる皆さんに「伊勢志摩に来て良かった」「もう一度行きたい」と感じていただくために、おもてなしを実践しているのが、「伊勢志摩おもてなしの会　伊勢なでしこ」の皆さんです。

伊勢なでしこは、伊勢志摩のことが大好きな20～30歳代の女性を中心に構成されています。

当初は16人のメンバーで活動を始めましたが、現在は60人を超えるまでに仲間が増えました。

メンバーの肩書きは、会社員や主婦、学校の先生、高校生・大学生などさまざま。みんな仲良く楽しみながら、和気あいあいと活動しています。

主な活動は、市内の観光地や駅で観光案内をしたり、イベントで伊勢音頭の披露や受け付け・接待などのおもてなしをしたりとさまざまです。今年は、旅行会社とタイアップし、団体旅行の観光客の皆様のご案内をするなど活動の域を広げています。

また、より良いおもてなしを目指し、日頃からみんなで勉強会をしたり、季節の行事を学んだり、伊勢音頭の習得をしたりと、地道な活動も怠りません。今年は伊勢商工会議所主催の「検定　お伊勢さん」を受験し、個々のレベルアップを目指すそうです。

伊勢志摩おもてなしの会代表の島田かよさんは、「観光客の皆さんが『また会いに来るよ』と言ってくれるのがうれしい。伊勢に親しみを持ってもらい、『もう一回来たい』と思ってもらえるよう、私たちがその一端を担えたら…」と語ります。

そして、「今は内宮周辺に観光客が集中していますが、外宮周辺も、二見も、河崎も周遊してもらい、伊勢全体を楽しんでもらえるようになったらいいなと思います。そこで、伊勢なでしこがそれぞれの場所を案内できるように活動の場を広げていきたい」と、これからの思いも語ってくれました。

みんな仕事や家庭などがあって活動に参加しにくい中で、「それぞれが一生懸命に取り組んでいる」とのことで、これからの活動を充実させていくためにもメンバーを随時募集しているとのことです。「地域の伝統・文化を知り、着物の着付けを学んだりもできるので、自分磨きの場にしてもらえれば」と、伊勢なでしこのメンバーのみならず、妹分に当たる中学生～高校生を対象とした「姫なでしこ」も募っています。

また、ボランティアでの活動となるため、草履がすり減っても新調しにくいなど、衣装代には頭を悩ませているとのことです。

今後の活動予定は、8月1日の「外宮さんゆかたで千人お参り」ではおもてなしを、8月中のメンバーが集まれる日には宇治山田駅構内での観光案内も予定しているとのことです。

まちで見掛けたときには声を掛けていただき、その活動を応援してください。

駅構内での観光案内の様子

ケーブルテレビ行政番組を地上デジタル放送123チャンネルで放送

広報広聴課（☎㉑5515）

市では、ケーブルテレビを活用し、市民の皆さんに行政情報や市民活動情報などをお知らせしています。

番組の進行役には、伊勢市出身や伊勢市を中心に活動するタレントを起用するなどし、分かりやすく、親しみを持って見ていただける番組づくりを心掛けています。

ぜひ、行政番組をお楽しみください。

ケーブルテレビ行政チャンネル番組表

時間	放送番組	時間	放送番組
6	特集（約20分）	18	特集（約20分）
	文字放送		文字放送
7	おしらせ（約20分）	19	おしらせ（約20分）
	文字放送		文字放送
8	特集（約20分）	20	
	文字放送		
9	おしらせ（約20分）	21	特集（約20分）
	文字放送		文字放送
10		22	おしらせ（約20分）
			文字放送
11	特集（約20分）	23	特集（約20分）
	文字放送		文字放送
12	おしらせ（約20分）	0	おしらせ（約20分）
	文字放送		文字放送
13	特集（約20分）	1	
	文字放送		
14	おしらせ（約20分）	2	
	文字放送		
15		3	
16	特集（約20分）	4	
	文字放送		
17	おしらせ（約20分）	5	
	文字放送		

伊勢市テレビ広報「絆」

《特集番組（毎月１日更新）》

市の重要課題や市政に関する情報を、キャスターの進行により、担当職員の解説を交えながら、分かりやすくお伝えします。

《おしらせ番組（毎週土曜日更新）》

各課からのおしらせや市民活動団体・ボランティア団体の情報などをお伝えします。

議会放送は、本会議、予算・決算特別委員会開会日の翌日午後２時と午後７時から放送（議会放送時は、通常番組は休止します）

地デジで行政番組を見るには？

「地デジ用にテレビを買い替えてから、行政番組が見られなくなった」という質問を寄せられることがあります。

市では、地上デジタル放送123チャンネルでケーブルテレビ行政番組を放送していますが、テレビの自動チャンネル設定機能では設定されないことがあるため、このような質問につながっていると考えられます。

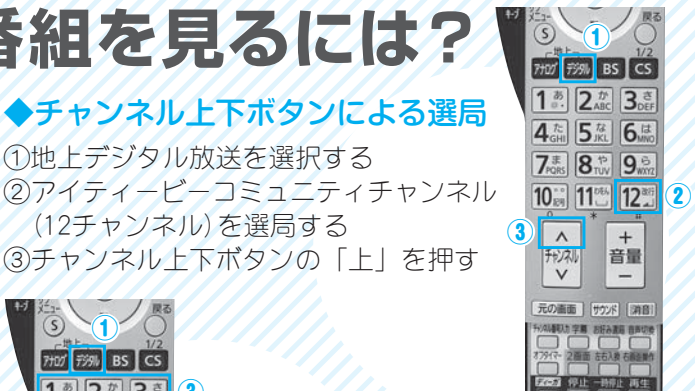
行政番組を見る場合は、次の方法で選局してください。

地上デジタル放送123チャンネルを、リモコンの空きチャンネルボタンに設定しておくと便利です。

設定方法は、メーカー・機種によって異なりますので、取扱説明書をご覧ください。

◆チャンネル上下ボタンによる選局

①地上デジタル放送を選択する
②アイティービーコミュニティチャンネル（12チャンネル）を選局する
③チャンネル上下ボタンの「上」を押す



◆チャンネル番号入力による選局

①地上デジタル放送を選択する
②チャンネル番号入力（または「３桁入力」「番号入力」など）のボタンを押す
③リモコンの「１」「２」「３」を押す

ケーブルテレビへの加入はお早めに！
10月31日㈪で加入促進補助金を廃止

市では、ケーブルテレビの加入促進を目的に、ケーブルテレビ加入のための初期経費の一部を補助してきましたが、この補助制度を平成23年10月31日㈪で廃止することとなりました。

※平成23年10月31日㈪までに㈱アイティービーと契約し、かつ、12月31日㈯までに宅内工事が完了するものまで補助をします。

ケーブルテレビ加入促進補助金の概要

補助対象

①**個人**…伊勢市に住民票または外国人登録があり、市内にある自ら居住する住宅（借家を含む）でケーブルテレビを視聴するために新たに加入する人

②**自治会等**…地域住民がケーブルテレビを地域の共同活動に利用する目的で、新たに加入する自治会など

補助金額　下表のとおり

補助金額

区分	対象	補助金額
加入金	個人 自治会等	加入金額の1／2（上限12,500円） ※㈱アイティービーが加入金の割引を実施する場合、市の補助はありません。
宅内工事費	個人	宅内工事費の1／2（上限5,000円） ※生活保護受給者の場合は宅内工事費の9／10（上限9,000円）。
	自治会等	宅内工事費の9／10（上限27,000円）

初期導入費用の例（個人の場合）

	通常価格	期間限定価格※1	市補助金	加入者負担額
加入金	26,250円	0円	0円	0円
引込工事費	15,750円	5,250円	補助制度なし	5,250円
宅内工事費※2	10,500円	10,500円	5,000円※3	5,500円
合計	52,500円	15,750円	5,000円	10,750円

※1　㈱アイティービーの期間限定価格は、平成23年8月31日までのものです。9月1日以降は異なる場合があります。
※2　表中の価格は、標準工事の場合の価格です。ブースター・分配器の取り付けなど、追加工事が必要となる場合は、別途工事費が必要となります。
※3　生活保護受給者および自治会等が新規加入する場合は、宅内工事費の補助金額が異なります。
※4　ケーブルテレビを視聴するためには月額利用料（補助対象外）が必要です。

※補助金を受けることができるのは、1人（または1自治会等）につき1回までで、同一世帯にすでに補助を受けた人がいる場合は、補助の対象となりません。

申請方法　加入契約時に㈱アイティービーに委任をしてください（同社が申請手続きを代行します）

申し込み・問い合わせ先　㈱アイティービー（☎フリーダイヤル0120・270・089、☎㉗0700）

※御薗地区については、ケーブルテレビを防災システムとして使用しているため、申し込み方法や導入費用などが異なります。詳しくは、御薗総合支所地域振興課（☎㉒0236）へ問い合わせてください。

※市内には、ケーブルテレビ網の一部未整備地域があります。詳しくは、㈱アイティービーへ問い合わせてください。

ケーブルテレビ加入促進事業補助金（平成23年度予算額）
263万5千円

ケーブルテレビでは平成27年3月までアナログテレビをご覧いただけます

7月24日をもって地上アナログ放送は終了しましたが、㈱アイティービーのケーブルテレビをご覧いただいている皆さんは、平成27年3月（予定）までは、地上デジタル放送対応のテレビやチューナーなどがなくても、引き続き、アナログのテレビやビデオでご覧いただけるようになりました。

これは、㈱アイティービーが、総務省などからの要請を受け、受信した地上デジタル放送を、アナログ方式に変換（デジアナ変換）し、ケーブル線を通して暫定的に配信することとなったためです。

宮川床上浸水対策特別緊急事業の進捗状況

監理課（☎㉑5641）

平成16年9月の台風21号により、宮川右岸の中島地区～佐八地区の堤防の無い地区では、溢水（水があふれること）・氾濫による浸水被害が発生しました。

国の管理区間であるこの区間では、今後同じような浸水被害が起きないようにするため、平成18年4月に「宮川床上浸水対策特別緊急事業」が採択され、地権者をはじめとする市民・住民の皆さんのご理解とご協力をいただき、国によって河川改修工事（堤防整備・河道掘削）が進められています。

昨年度末までに全ての樋門・樋管の整備工事が完了し、現在は、一部区間の築堤工事と河道掘削工事が残るのみとなりました。国は、今年度中の完成に向けて工事を進めています。

お願い

工事期間中、近隣住民の皆さんにはご不便・ご迷惑をお掛けしますが、引き続き、工事にご理解・ご協力をいただきますようお願いします。

宮川床上浸水対策特別緊急事業の概要

事業主体	国（国土交通省）
場　所	宮川堤公園～佐八町の堤防の無い区間
延　長	3,340m
事業内容	•築堤整備 •樋門・樋管整備 •河道掘削
総事業費	約114億円
事業期間	平成18年度～平成23年度

堤防整備

工事の進捗状況（平成23年4月1日現在）

■堤防整備

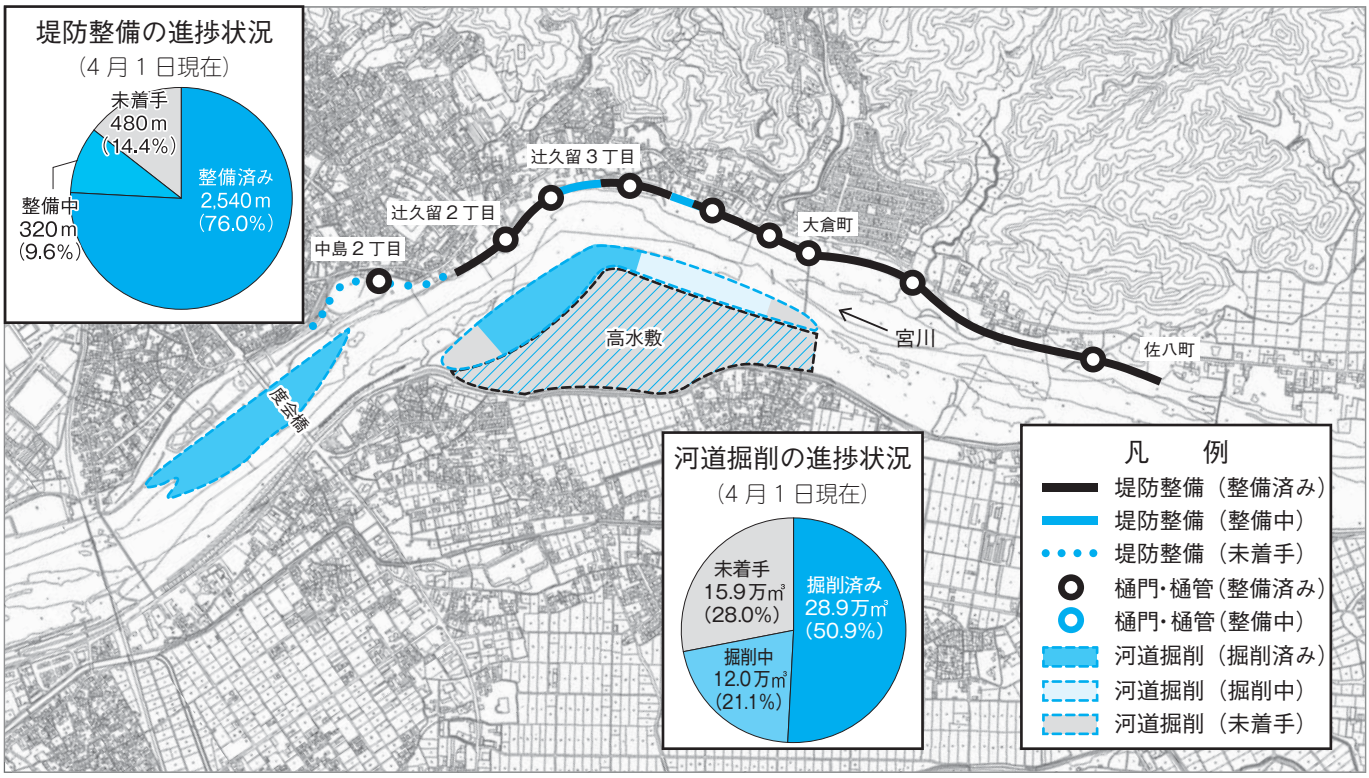
区分		築堤延長	樋門・樋管
要改修（A）		3,340m	9箇所
改修済（B）		2,540m	9箇所
改修中（C）		320m	－
未改修		480m	－
進捗	B/A	76.0%	100%
	（B+C）/A	85.6%	100%

用地買収　約13.7haのうち、約13.4ha（約97.8%）を取得済み

■河道掘削

区分		掘削土砂量
要施工（A）		56.8万㎥
施工済（B）		28.9万㎥
施工中（C）		12.0万㎥
未施工		15.9万㎥
進捗	B/A	50.9%
	（B+C）/A	72.0%

用地買収　約42.7haのうち、約42.3ha（約99.1%）を取得済み



宮川左岸高水敷利用計画（案）に対する意見を募集

監理課（☎㉑5641）

宮川の改修工事に伴い、宮川左岸の高水敷（川端町・中須町）は整地され、多目的な利用が可能となります。

このため市では、この河川敷を水辺に親しめる空間として利用できるようにするため、「宮川左岸高水敷利用計画懇談会」からの意見をいただき、利用計画案を作成しました。

この計画案をもとに、広く市民の皆様の意見を取り入れた案を作成するため、次のとおり意見を募集します。

提出資格　市内に在住または通勤・通学している人など、計画案に利害関係がある人

提出方法　8月31日㈬（必着）までに、住所・氏名・電話番号・意見を記入（様式は自由）し、直接または郵送・ファクス・Eメールで監理課（〒516－8601岩渕1丁目7－29、FAX㉑5585、アドレスkanri@city.ise.mie.jp）へ

計画案の閲覧

閲覧期間　8月1日㈪～31日㈬

閲覧場所　市役所本館・1階市民ホール、総務課、監理課、各総合支所地域振興課、各支所、伊勢図書館、小俣図書館、生涯学習センターいせトピア、二見生涯学習センター

宮川左岸高水敷利用計画策定経費（平成23年度予算額）
178万円

市長室から

毎日暑い日が続いています。この夏も、熱中症で救急搬送される人が多くなっていますので、十分な休養と栄養をとるようにし、小まめに水分補給をするようにしましょう。

お体にはくれぐれもご自愛ください。

さて、伊勢市では、2人目の副市長を全国から募集することとしました。

平成25年の神宮式年遷宮に向け、伊勢のまちを訪れる観光客は年々増加し、遷宮の年には約1000万人の観光客が伊勢を訪れると予想されています。

また、少子化・高齢化・人口減少という、今まで経験したことのない新しい時代の中で、子育て支援、年金、介護、地域医療などの財政基盤を構築する大きな局面を迎えています。

伊勢市では、20年後には人口が11万5000人程度となり、子どもと働く世代が減少する反面、65歳以上の高齢者世代が全体の約33％を占める見込みです。

税収が減少し、経済規模の縮小が進む中で、福祉施策への対応が重要になり、増大する財政負担が行財政運営を一層厳しいものとすることが予測されます。

この厳しい現実に対して、地域経済・産業政策、雇用などのさまざまな側面から定住人口の増加策を模索し、子どもたちが笑い、高齢者の皆さんが幸せに暮らす「笑子幸齢」のまちにしていきたいと考えています。

住みよい暮らしはもちろん、人口増加策や観光を中心とした地域の活性化など、課題がたくさんある中で、それらを一つずつ実現していくために、さらなる行動力を発揮できる力が求められています。また、トップマネジメント力の強化を図り、活力ある伊勢市の実現に一層の力を注いでまいりたいと考えています。

伊勢市の政策を着実に実現していくとともに、古き良き伝統を守りながら、時代のニーズを見越した創造と挑戦を続け、後世に誇れるまちづくりを目指し、共に力を合わせていける人材を求めています。

来たれ！副市長!!

お待ちしております。

応募資格や応募方法など詳しくは、「広報いせ」7月15日号でお知らせしていますので、ご覧ください。

問い合わせ先
職員課（☎㉑5505）